

# かたの



平成23年  
**12/1**

# 市議会だより

議会ニュース

## 改選後の初議会が開催 15名による新体制がスタート



浅田 耕一  
交星みんなクラブ



新 雅人  
公明党



片岡 弘子  
自由民主党



兼田 龍洋  
交星みんなクラブ



久保田 哲  
市民かがやきクラブ



黒田 実  
市民かがやきクラブ



坂野 光雄  
日本共産党



坂本 顕  
会派無所属



皿海 ふみ  
日本共産党



友井 健二  
公明党



中上 さち子  
日本共産党



野口 陽輔  
市民かがやきクラブ



前波 艶子  
交星みんなクラブ



松本 直高  
自由民主党



三浦 美代子  
公明党

※左上から50音順。

## 目次

- 2 議会ニュース
- 3-7 一般質問
- 4-5 委員会審査のあらまし
- 8 議会で決めたこと

## 就任のごあいさつ

議長 新 雅人

平成23年第3回議会定例会において、第41代交野市議会議長に就任いたしました。改選後の舵取りという重責ではありますが、誠心誠意努めてまいりますので、温かいご支援、ご協力をお願い申し上げます。

編集・発行＝交野市議会

# 改選後の初議会が開催 15名による新体制がスタート

議長に新雅人議員（公明党）、副議長に野口陽輔議員（市民かがやきクラブ）  
監査委員（議会選出）に浅田耕一議員（交星みんなクラブ）が就任

## 本会議の動き

### 第3回議会定例会

今議会は、市議会議員選挙後初めての定例会として、10月11日から11月2日の23日間を会期として開かれました。

初日の議長選挙を皮切りに、副議長、監査委員（議会選出）、各委員会委員、派遣議員などを選出し、10月13日には新体制（下表）での運営がスタートしました。

17日からは本格的な議案審議が始まり、まず4件の報告を受けた後、1件の人事案件に同意しました。続いて、1件の専決処分を承認し、「東部大阪都市計画妙見東地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例及び東部大阪都市計画妙見坂地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を

改正する条例」を満場一致で可決しました。

次に、22年度の一般会計や6特別会計の決算審査のため、決算特別委員会が設置され、各決算を付託することを決めました。また

「交野市税条例等の一部を改正する条例」他2議案を総務文教常任委員会に、「22年度交野市水道事業会計決算認定について」他1議案を都市環境福祉常任委員会に付託しました。27日～31日には、市政全般に対する一般質問を行いました。

最終11月2日は、決算特別委員会及び2常任委員会から付託案件の審査報告が行われ、各決算が閉会中の継続審査となり、他の議案はすべて可決しました。最後に議員提出議案として、議員の定数条例の一部改正及び意見書3本を可決し、今議会は閉会しました。

### ■議会役員と各委員会委員

議長：新 雅人      副議長：野口 陽輔			
監査委員（議会選出）：浅田 耕一			
委員会名	委員長	副委員長	委員
議会運営委員会	黒田実	友井健二	中上さち子・前波艶子 松本直高
総務文教 常任委員会	三浦美代子	松本直高	兼田龍洋・黒田実・友井健二 中上さち子・野口陽輔 前波艶子
都市環境福祉 常任委員会	坂野光雄	久保田哲	浅田耕一・新雅人・片岡弘子 坂本顕・皿海ふみ

### ■議会選出の派遣議員・委員

四條畷市交野市清掃施設組合 議会議員	兼田龍洋・久保田哲・黒田実 友井健二・中上さち子・松本直高
北河内4市リサイクル施設組合 議会議員	皿海ふみ・前波艶子
交野市農業委員会委員	坂野光雄
東部大阪治水対策促進議会協議会委員	片岡弘子・坂本顕・三浦美代子
後期高齢者医療広域連合議会議員	三浦美代子
片町線複線化促進期成同盟会委員	坂野光雄・前波艶子
交野市山地対策協議会委員	浅田耕一・新雅人・片岡弘子 久保田哲・坂本顕・友井健二 中上さち子
淀川左岸流域下水道整備促進 期成同盟会委員	兼田龍洋・久保田哲・坂野光雄 野口陽輔
交野市都市計画審議会委員	黒田実・皿海ふみ・前波艶子 松本直高・三浦美代子
交野市基本構想審議会委員	片岡弘子・兼田龍洋・黒田実 坂野光雄・友井健二

# 自由民主党

松本 直高  
片岡 弘子

## 行政経営について

ほか

**問** 本市において「経営」という言葉を用いている主旨について。

**答** 「管理型運営」からの転換を目指し「成果」を上げることでできる「仕組み」の構築を実現したいとの思いを「経営」という言葉で表現した。

**要望** 地方自治法が定める「最少の経費で最大の効果を挙げるように」との経済性の原則をはじめ、諸原則に基づく「経営」に取り組みられることを求める。

## 財政状況について

**問** 平成22年度一般会計は黒字決算となっているが、それをもって本市の財政状況は良いと捉えることができるのか。

**答** 実質収支は黒字、また単年度収支では赤字となつ

た。主財源が弱い中で義務的な歳出の占める割合が高いという状況は続かざるを得ず、先行きが見通せない厳しい状況である。

**問** 基金は、経常的なランニングコストとしても使えるものか。

**答** 基金を恒常的にランニングコストに充て、枯渇させるようなことは現実的には考えられず、財政運営上、慎重に運用していく必要があると考えている。

**問** 本市の生活保護行政は法定受託事務だが、財政に大きく影響することになった場合、国に返し得るものか。

**答** 法定受託事務の国への返還は可能であると認識している。

**問** 早期健全化団体等になるとどうなるのか。

**答** 市の実情を反映した予算編成が難しくなり、市民の負担が増大し、市民サービスが低下する。

## 教育行政について

**問** 小学校のフリースペースについて。

**答** 毎週水曜日の放課後に校庭を開放して、子ども達が自由に遊べる事ができるようにしている。

**要望** 子ども達が一度帰宅してからではなく、授業終了後そのままフリースペースを使えるようにして欲しい。

**問** 学校のトイレは狭く薄暗い印象を受けたが、どのような計画で改修を考えているのか。



学校遊具（私市小学校）

いるのか。  
**答** トイレの改修に向け、国の補助制度を最大に活用し、市の財政負担を軽減しながら年次的な改修を行いたいと考えている。

**問** 使用禁止とされた遊具や修理が必要な遊具の今後について。

**答** 授業等で活用する鉄棒やジャングルジムなどの遊具の優先的な復元を図るよう考えている。

## 福祉行政について

**問** 成年後見制度に関連して行っている本市の事業と実績やその他の取り組みについて。

**答** 成年後見制度は、認知症などにより判断能力が低下した者を法的に支援する制度である。市が実施主体の事業は2点あり、引き続き事業の充実に取り組み、また、地域包括支援センターの事業の強化とともに、研修会や市民講座を継続して開催し、制度の周知に努める。

## 学校教育について

会派無所属 坂本 顕

**問** 給食食材の安全性について。

**答** 牛肉については従前のチェックに加え、セシウム汚染検査結果証明書の提示も求めている。野菜は地場産のものを優先的に使用し、HPや献立表で使用食材を全て公開している。

**要望** 厚労省は食品ごとの放射線量規制値を改めて作るが、生命に関することなので慎重な対応を求める。

**問** 小中学校でのエアコン使用状況と特別教室への設置について。

**答** 環境マネジメントシステムの指標に合わせるよう、研修を行い28℃を目安に温度管理に努めている。暖房も同様である。特別教室については、使用頻度が普通教室と比べて少ないので計画はないが今後検討したい。

# 交野みんな クラブ

前波 艶子・浅田 耕一  
兼田 龍洋

## 教育行政について

ほか

**問** 学校給食の調理・提供

については、特に安全面に配慮された取り組みがなされているものと考ええる。しかし、今般発生した東日本大震災による福島第一原発事故のために食材の安全性については、保護者の方は大変心配をされているところであるが、市として給食食材の調達にはどのような対応がなされているのか。

**答** 福島原発事故以後、国

において原子力災害対策特別措置法に基づき、食品衛生法の暫定数値を超える農作物、肉類などは市場への出荷停止措置が取られていることから、流通はなされておらず、安全な食材が調達されているものと考え

る。なお、保護者の持つ不安を払拭するため、原乳、精白米の産地をホームページ上で公開すると共に、その他の食材に対する問い合わせがあった場合も、可能な限りお答えするなどの対応に努めている。

## 新給食センターの 取り組みについて

**問** 第2次財政健全化計画

では、平成24年度まで凍結となっていた新学校給食センターの建設事業が、今般、再開されることになったが、今後の取り組みは。

**答** 本事業の再開に伴い、

すでに策定されている学校給食センター整備事業計画は、策定から3年が経過し

ていることなどにより一定の見直しが必要と考える。今後、早急に本事業計画の見直しを行った上で、平成24年度においては、建設候補地の買収、平成25年度において、基本設計、実施設計、造成など、平成26年度から平成27年度には、建設工事への着工という予定をしている。

**要望** 新給食センターが供

用開始されれば現第3給食センターは給食センターとしての役割は終了し、普通財産となる旨説明がなされている。その際には是非、子どもたちを主として学校、地域、そして家庭がその施設を利用して、食を通じた交流が図れるような取り組みを実施されるよう要望する。

## いきいきマルシェ おりひめの駅について

**問** 交野いきいきマルシェ

おりひめの駅にはどのよう



交野いきいきマルシェおりひめの駅（10月29日）

**答** 交野市にお住いの方、

あるいは交野を訪れる多くの方を市の活力や経済力へ繋げる仕組みが乏しい現状を何とかしたいという思いからスタートしたものである。まずは「始める」ことに重点を置き、農産物や市内物産市といった身の丈にあった開催とし、将来的には「道の駅」のような機能が創出されることを目指している。

## 委員会審査のあらまし

総務文教常任委員会  
（10月19日）

議案第45号 交野市税条例等の一部改正条例

▼概要 寄付金税額控除の下限額引き下げや租税罰則の見直しなど

▼討論 反対⇨大資産家の優遇税制が含まれるため反対

▼結果 可決（賛成多数）

議案第46号 財産の無償譲渡

▼概要 やわらぎ授産所の民営化に伴う市有物件の無償譲渡

▼討論 反対⇨やわらぎ授産所の民営化は反対

▼結果 可決（賛成多数）

議案第47号 23年度一般会計補正予算（第3号）

▼概要 緊急雇用創出事業や総合体育施設の設備改修工事など

▼結果 可決（満場一致）

市民かがやき  
クラブ

野口 陽輔・黒田 実  
久保田 哲

高齢者の外出支援について ほか

**問** 高齢化社会に向けて高齢者の外出支援策は大きな課題である。市は昨年ゆうゆうバスを縮小したが、市民のゆうゆうバスに対する期待は未だ大きい。しかし、ゆうゆうバスを拡大させる

よっては、民間企業が、営業を縮小、または、撤退していくことも考えられる。

従って私たちは、ゆうゆうバスの機能を民間企業に全面的に委託することを市に提案するが市の考えは。

**答** ゆうゆうバスについては、一度は廃止の方針を打ち出したが、各方面でご議論をいただき、高齢者等外出支援バスとして再出発した。このようなことから、

直ちにゆうゆうバスを廃止して、新たな公共交通を必要とする状況でないと考える。しかし、ご提案のように、昨今、バスの業者の経営も非常に厳しい状況と聞いており、道路運送法の改



市役所本庁舎

正により路線参入、また撤退の規制が緩和されたことや、高齢化率も確実に高まることが想定されることから、今後も現在の状況が継続して続けられるとは思っていない。したがって、今後状況の変化が生じた場合における対策としては考えておく必要があるのではないかと考えている。

災害対策（庁舎の耐震化について）

**問** 市は別館耐震補強の調査結果を見ながら、財政状況も考慮して、本館の耐震化に取り組んでいくということだが、一方、視点を

変えれば、既に耐震補強されている施設を有効活用するのも、一つの案ではないか。例えば、少子化に伴い、児童数の減少による学校の統廃合も今後出てくる大きな課題であるが、学校施設を市庁舎として活用するとうい発想も、一つではないか

と思うが市の考えは。

**答** 耐震診断調査を実施して、耐震補強工事を行うとなると多額の財政負担を伴うことが予測される。今後、想定される大震災に備えるために、現在の建物を耐震補強することによって対応するというのが、現下の財政状況下にあつては最も現実的な考えであると思うが、現在の敷地は借地というハンディもある。そうした点から、ただいま指摘いただいたとおり、学校施設等の活用についても検討するに値するものと考えている。

その他の質問

- 一、星田北エリアの活性化について
- 一、環境基本計画の策定について
- 一、産科の誘致について
- 一、病後児・病児保育について
- 一、学校支援地域本部事業について

都市環境福祉常任委員会（10月19日）

議案第43号 22年度水道事業会計決算認定

**▼概要** 総収益14億1657万円・総費用12億6015万8千円・純利益1億5641万2千円

**▼主な質疑**  
**問** 水道管の耐震化の状況は。

**答** 基幹管路の約40%は適応。新浄水場の整備終了後、計画を策定していく。  
**▼結果** 認定（満場一致）

議案第48号 23年度介護保険特別会計補正予算（第2号）

**▼概要** グループホーム及び小規模特養の整備補助金など

**▼主な質疑**  
**問** 同補助は国の100%補助であるから、待機者解消に向け整備を進めるべき。

**答** 整備後の運営費は介護保険料に反映されるため、その点も踏まえ対応する。  
**▼結果** 可決（満場一致）

公明党

友井 健二・三浦美代子  
新 雅人

安心・安全なまちづくりについて ほか

**問** 防災行政無線の内容をあとから聞くことができる自動応答サービス、さらに一步進めて、通話無料のフリーダイヤルで24時間対応のサービス導入を。

**答** 民間サービスについて、有用と考えられるものは可能な限り活用すべきと考える。今後検討していきたい。

**問** 交野市における災害時に援護が必要な人に関する施策はどう考えているか。

**答** 全体計画と個別計画に分け、要援護者一人ひとりに対する個別支援計画は10モデル地区で取り組む予定になっている。

**問** 要援護者の情報を集めても支援する人が必要なのではないか。

**答** 支援する人は地域の方々と考えている。隣人に加え、自治会、自主防災組

第2次財政健全化計画について

**問** 計画に具体的に含まれていない新規事業などたくさんあるが、健全化計画との整合性を示すべきと考えるが。

**答** 計画の進捗状況については、決算特別委員会で示したい。また、新規事業との整合性については予算審議時に資料添付する。

**問** 国制度の三セク債の活用は無理か。

**答** 将来の公債費負担を考えると活用はできない。

**問** 第三次土地開発公社健

全化計画では、平均毎年7億円の市予算を投入するが、現在の条件だと、いつ償還が終わるのか。

**答** 条件が変化しなければ平成58年度となる。

**要望** この7億円を最低ラインとした投入量を今後も継続してほしい。

学校施設・設備について

**要望** 学校、幼稚園及び市内の公園にある遊具も安全点検・撤去・復元を。

**問** 避難所にもなる体育館のトイレの洋式化は。

**答** 屋外の多目的トイレを設けるよう計画を検討。

**問** 特別教室へのエアコン設置は。

**答** 今後の検討課題とする。

水道事業について

**問** 以前、要望していた新浄水場と現浄水場の高低差を利用しての小水力発電の導入について。

**答** 現在、導入計画を進め



建設中の新浄水場

その他の質問

**問** 水道局の災害対策は

**答** 管路の耐震化と合わせて、企業団の送水管と本市の配水管を直接接続して緊急時に直接給水が可能となる工事が平成24年度中完成を目標に調整中。梅が枝・松塚・郡津・幾野地区の約4500戸に給水可能となる。

一、沿道まちづくり・都市計画道路について

一、がん検診・予防ワクチン接種について

一、図書室の開室時間の延長について

議員一覧表

議員名	住所	電話番号	議員名	住所	電話番号
浅田耕一	星田3-10-15	891・0033	坂本 顕	藤が尾4-13-12	892・2254
新 雅人	倉治6-38-14	893・2331	皿海ふみ	星田7-44-21	894・2835
片岡弘子	私市8-16-7	892・4132	友井健二	藤が尾2-13-1	810・2466
兼田龍洋	森南1-22-3-305	845・6565	中上さち子	倉治6-17-13	893・6785
久保田哲	星田4-21-11-421	894・0789	野口陽輔	私部南2-23-24	397・9615
黒田 実	私部1-43-7-402	895・7277	前波艶子	天野が原町2-22-34	891・8787
坂野光雄	私部1-38-23	893・1083	松本直高	向井田1-48-16	892・7055
			三浦美代子	私市6-18-28	893・0199

※左から50音順。

日本共産党

中上さち子・坂野 光雄  
皿海 ふみ

ゆうゆうバスの3台復活を ほか

**問** ゆうゆうバス1台削減による利用者への影響は。

**答** 削減からの1年間で、バス利用者は45%減で、259人の人が乗れなかった。

**問** 高齢者や障がいのある人が病院・ゆうゆうセンター・プールなど、行きたいところに行け、バス停もすぐ、そんな公共交通が高齢化に向け必要ではないか。

**答** 駅や歩道のバリアフリー化と、新たな福祉有償運送を実施したい。



ゆうゆうバス

**問** 福祉有償運送サービスは利用者が限定され利用料が必要。将来の高齢化に向けた外出支援にならない。

**答** 福祉有償運送サービスも進めながら、今後の高齢化やニーズを見て外出支援を検討したい。

**要望** 市財政は好転で1台分の900万円の支出は可能。将来の高齢化を見据えた外出支援の議論は今後必要であり、整うまでは3台に復活すべきである。

第二京阪道路の環境・安全対策を

**問** 門真市域で第二京阪道路のアクリル遮音壁の照り返し被害の対策が行われているが、交野市域ではどうなっているのか。

**答** 門真市域で西日本高速道路（株）が、沖小学校付

近で700メートルの対策を試験施工として実施している。本市として、対策の実施を事業者に要望している。

**問** 168号線との交差点や東倉治1丁目など、騒音対策の遮音壁設置はどうか。

**答** 事業者に要望を行っているところである。

**問** 第二京阪道路開通後、一般道・副道において90件以上の事故が起り、死者が2名も出ている。原因を把握し改善していただきたい。事故発生時の信号のない交差点には、赤黄の1灯点滅式信号機などを設置していただきたい。

**答** 現場を再確認し、関係機関に働きかけたい。

障がい者ショートステイの受け入れ拡充を

**問** ショートステイ（短期入所）は、利用希望者が多く、必要な時に受け入れてもらえない実態がある。受け入れ先を増やす必要があると考えるが。

**答** 必要なベッド数は確保

されていると考えるが、緊急のショートステイに対応できる施設整備には課題があると認識している。

**要望** 受け入れベッド数そのものが不足。来年からの第3期計画で、受け入れ枠の拡充を求める。

公園遊具の整備について

**問** この3年間で、公園の遊具が12基撤去されたまま、補充すべきと考えるが。

**答** 地元から強い要望があれば、設置を検討していく。

**要望** 国土交通省の指針にもとづく遊具の安全点検を実施し、必要な遊具の入れ替えをすすめてほしい。

その他の質問

- 一、子ども医療費助成は小学校卒業まで拡大を
- 一、撤去された学校遊具の復元について
- 一、土砂災害対策について
- 一、自然エネルギーの普及
- 一、星田・大谷橋交差点の改良工事について

議員控室配置図（市役所本館3階）

自由民主党	会派無所属	公明党	日本共産党	市民かがやきクラブ	交星みんなクラブ
◎松本 直高 片岡 弘子	坂本 顕	◎友井 健二 新 雅人 三浦美代子	◎中上さち子 坂野 光雄 皿海 ふみ	◎黒田 実 野口 陽輔 久保田 哲	◎前波 艶子 浅田 耕一 兼田 龍洋
内線 307	内線 306	内線 305	内線 301	内線 303	内線 302

◎は会派の幹事長

平成23年第3回議会定例会（10月11日～11月2日）

案 件 名		本会議結果
選1号	交野市議会議長の選挙について	当選
	議席の指定について	決定
選2号	交野市議会副議長の選挙について	当選
議49号	監査委員の選任について	同意
	交野市議会運営委員会委員の選任について	選任
	交野市議会常任委員会委員の選任について	選任
選3号	北河内4市リサイクル施設組合議会議員の選挙について	当選
選4号	四條畷市交野市清掃施設組合議会議員の選挙について	当選
	交野市農業委員会委員の推薦について	推薦
	議会選出の派遣委員の選任について	選任
選5号	交野市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について	当選
報7号	専決処分事項報告について（和解及び損害賠償の額の決定）	報告
報8号	平成22年度交野市健全化判断比率の報告について	報告
報9号	平成22年度交野市下水道事業特別会計資金不足比率の報告について	報告
報10号	平成22年度交野市水道事業会計資金不足比率の報告について	報告
議34号	専決処分事項報告について（平成23年度交野市一般会計補正予算（第2号））	承認◎
議35号	教育委員会委員の任命について	同意◎
議員9号	決算特別委員会の設置について	可決◎
議36号	平成22年度交野市一般会計歳入歳出決算認定について	継続
議37号	平成22年度交野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	継続
議38号	平成22年度交野市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続
議39号	平成22年度交野市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について	継続
議40号	平成22年度交野市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	継続
議41号	平成22年度交野市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	継続
議42号	平成22年度交野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	継続
議43号	平成22年度交野市水道事業会計決算認定について	認定◎
議44号	東部大阪都市計画妙見東地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例及び東部大阪都市計画妙見坂地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例について	可決◎
議45号	交野市税条例等の一部を改正する条例について	可決○
議46号	財産の無償譲渡について	可決○
議47号	平成23年度交野市一般会計補正予算（第3号）について	可決◎
議48号	平成23年度交野市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	可決◎
議員10号	交野市議会の議員の定数条例の一部を改正する条例について	可決◎
議員11号	地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書の提出について	可決◎
議員12号	学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書の提出について	可決◎
議員13号	大規模災害時に備えた公立学校教職員派遣制度の創設を求める意見書の提出について	可決◎

※選は選挙、議は議案、報は報告、議員は議員提出議案です。本会議結果の◎は満場一致、○は賛成多数です。

議会の傍聴にお越しく下さい  
～平成23年第4回議会定例会の予定～

12月2日（金） 本会議  
12月14日（水）～16日（金） 本会議（一般質問）  
12月21日（水） 本会議（委員長報告・採決）